

■5月25日

ボーイング787関連: 太田国交相、営業運航再開を許可

(日経によると)

太田昭宏国土交通相は24日の閣議後会見で、全日本空輸と日本航空が計画するボーイング787型機の営業運航再開を認めると発表した。2社が実施したバッテリーの改修作業や試験飛行などの報告と、国交省による確認作業を踏まえ、再開に支障はないと判断した。全日空は26日の臨時便、日航は6月1日の定期便から運航を再開する。

日本の航空会社の787型機の営業運航は約4カ月ぶりとなる。太田国交相は「運航再開後も787型機の安全と利用者の安心確保に万全の対応を取る」と述べた。

(日経)5/24

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC24005_U3A520C1EB1000/ (->

http://www.nikkei.com/article/DGXNASGC24005_U3A520C1EB1000/)

全日空、ジャンボ旅客機、退役を前倒しー2014年3月末

全日空は24日、保有するジャンボ旅客機を全て引退させる時期を、当初計画の2015年から14年3月末に前倒しすることを明らかにした。国内航空会社では全日空だけが運航し続けており、羽田発着の札幌、那覇両線の一部便など国内線で使っている5機を順次退役させる。

全日空は787を大量導入する一方、燃費性能が劣るジャンボ機の退役を早めて経費削減を進める意向だ。

(47NEWS)5/24

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013052401002433.html> (->

<http://www.47news.jp/CN/201305/CN2013052401002433.html>)

FDA、丘珠空港で離発着テストを計画

フジドリームエアラインズ(FDA)が、7月7日に丘珠空港で小型ジェット機の離着陸テストを計画していることが24日、分かった。同空港の滑走路の長さは1500メートルで「ジェット機が利用するには十分でない」との指摘もあることから、安全に離着陸できることを確認する狙いがある。

読売新聞によると、今回のテストは、経済人や地方議員の有志で構成し同空港を拠点にした札幌の経済活性化を目指す「丘珠研究会」が、同社に働きかけて実施が決まった。鈴木与平・同社社長は昨秋、札幌市で開かれた「丘珠空港活性化シンポジウム」で講演し、「(丘珠は札幌市)中心部に近く、有効利用できる」と、自社の小型ジェット機就航の可能性を示唆した。

関係者によると、テストは、同社が保有する小型ジェット機「ERJ170」で行い、一般客は乗せず、離着陸の様子は公開される。想定実験ではオーバーランしないことが確認されているとし、テストでも安全性に問題はないとの説明を同社から受けているという。

丘珠空港の発着枠は、1日44便が上限となっているが、現在は、北海道エアシステム(HAC)のプロペラ機(36席)による1日24便の運航にとどまっている。

(読売新聞)5/25

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hokkaido/news/20130525-OYT8T00027.htm> (-> [http://www.yomiuri.co.jp/e-](http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hokkaido/news/20130525-OYT8T00027.htm)

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/hokkaido/news/20130525-OYT8T00027.htm>)

デルタ航空CEO、成田空港、アジアハブ空港拠点、今後も強化

デルタ航空のリチャード・アンダーソン最高経営責任者(CEO)は23日、ニューヨーク市内で記者会見し、「成田空港は引き続き(アジアで)トップのハブ(拠点)空港であり、今後も力を入れていく」と述べた。アジアでは、デルタの提携パートナーの航空会社が本拠を置いている香港や中国本土に積極投資する方針だが、日本をアジア各国への玄関口とする戦略を強化する考えだ。日経が報じた。

同氏は、「長期的にはニューヨークと香港、中国を結ぶ便を増やす」方針。特に中国は「米国との2国間協定で許可されれば、(提携先と)共同事業を始めたい」と今後の事業拡大に意欲を示した。

(日経)5/24

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM2401R_U3A520C1EB2000/ \(->](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM2401R_U3A520C1EB2000/)

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM2401R_U3A520C1EB2000/\)](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGM2401R_U3A520C1EB2000/)